

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	開設から9年を迎え、車椅子がないと長い距離の歩行は困難な方も増えてきている。外出時のスタッフの人員確保、車両の用意などが難しく、出かける機会が減ってしまった。	個々のご入居者の外出へのニーズを掴み、個別支援として行う機会を増やしていく。また、ユニット毎に近隣でも外出できる機会が増えるよう人員確保をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援については、計画作成担当者とケアプランに反映した計画を立てて実現していく。</li> <li>・スタッフ人員を増やす。あるいは、他ユニットからお手伝いに入るシステムを定着させる。</li> <li>・新規車両の導入を検討する。</li> </ul>	6ヶ月
2	47	入浴時に全介助の方が増えている影響で、スタッフの都合が優先した入浴のお誘いになっている。	入浴に関する希望を改めてお聞きし、出来る範囲で実現し満足のいくケアを行いたい。(時間、回数や曜日、入浴剤など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴に関して、アセスメント、モニタリング、ケアプランを見直す。</li> <li>・ユニット会議において、業務時間の見直し。</li> <li>・管理者による入浴状況(時間帯、回数など)確認を随時行う。</li> </ul>	3ヶ月
3	38	日々の業務をこなす事が支援になっている傾向があり、「その人らしさ」への取り組みが出来ていない。	「その人らしい」生活について、常に意識して支援が出来るようスタッフの意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のご入居前の生活についてアセスメントし、現在の生活との差をスタッフが気づけるような研修機会を設ける。</li> <li>・ご本人やご家族に参加いただくカンファレンスを開き、「その人らしい」生活を考える機会を設ける。</li> </ul>	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。